

就学前施設再編説明会（せつよう幼稚園）

場 所：せつよう幼稚園

日 時：平成30年5月30日（水）18時30分～20時20分

参加者：64名（就学前児童保護者13名、その他51名）

質疑等：

質問：閉園は決定か。市議会で議決された内容を変更することはできないのではないか。今日の協議内容は今後、どのように活かされるのか。

回答：新設のこども園、再編する園は決定しましたが、実施時期は決定しておらず、説明会等におけるご意見を踏まえ適時適切に対応していきます。

質問：対象となる子育て世代がほとんど来ておらず説明会になっていない。開催についてもっと告知し、きちんと対話してほしい。

回答：広報紙やホームページでの掲載、幼稚園や保育所等での掲示、自治会連合会でも説明したところです。

質問：今回の再編のどこに市民の声が入っているのか。働く親や保育士、子ども側に立って考えた計画なのか。

回答：昨年8月の計画公表以来、説明会については、これまでおよそ100回、約2千人の参加をいただきました。議会からもさらなる市民周知を求められ、子育てアプリの活用や、むっくむっくルームでの説明会の掲示、また就学前の子どもさんのいるすべての家庭にダイレクトメールを送るなど今までにない手法も用いて行ってきました。

質問：せつよう幼稚園の園児数が減っているのはなぜか。現在、こやのさと・せつよう・ささはら幼稚園の園児数を教えてほしい。

回答：就労する保護者が増え、保育所ニーズが高まっています。園児数については、4歳・5歳児の人数については、こやのさと幼稚園が13人・24人、せつよう幼稚園が13人・11人、ささはら幼稚園が7人・22人です。

質問：公立・私立で教育内容や金銭的負担を平等にするべきではないか。余裕のある人は私立に、余裕のない人は公立に行くようにと聞こえる。

回答：伊丹市では、4歳5歳はこの4月から保育料は私立も公立も無償化しています。私立幼稚園では、保育料の他に施設費や制服など別途費用がかかります。

質問：せつよう幼稚園の子どもは南西部こども園まで2 km以上を通うことになるが、市としてこの距離を(是と)認めるのか。雨の日は自転車を使えない。徒歩通園は非常に大切な情操教育である。(自転車を使うと)こやのさと・せつようの子どもは教育の機会を奪われることになる。

回答：通園距離が延びることから、自転車の利用については保護者の選択としました。

質問：南西部こども園に保護者が送迎する場合、(大勢の子どもの)受入れはどうなるのか。殺到してけがや事故につながるのではないか。通園の列に車が突っ込むこともあり危険だと思うが、どう考えているか。

回答：保育所所属の子どもについては登園時間はまちまちであり、幼稚園所属の子どもも、現在のように皆がグループ登園しないため、大きな列にはならないと思われます。また、例えば登園時間に時差を設けることなどにより、分散して登園することも考えています。

質問：公立幼稚園の3歳児保育は、私立幼稚園に入園できなかった人すべてを受け入れることができるのか。せつよう幼稚園区の人全員南西部こども園に入れるか。

回答：応募者が定員を上回れば抽選となることがあります。現在のところ抽選はありませんが、これまで抽選のあった場合、選外の方には定員に余裕のある園を紹介しており、今後もそのようになります。

質問：3歳児保育をできるだけ早く良い内容で実施してほしい。

回答：幼児教育推進計画では平成32年からの実施となります。実施に向け、きちんと準備していきます。

質問：共働き家庭が増える中、私立幼稚園と同じくらいの時間は預かってほしい。給食にしてほしい。弁当日でも降園時間が阪神間でも一番短い。早く検討して情報提供してほしい。

回答：降園時間については市民講座でも伺っており、まだ実施等できておらず申し訳ありません。今後、検討します。

質問：プレ保育になぜ園児が集まっていないのか。子どもが親と離れて社会に出る一歩で、親が付き添うことは概念とずれている。教育委員会考え方を示してほしい。

回答：予算の議決後であるため、募集が4月に入ってからとなり周知期間が短かったかもしれません。プレ保育の考え方については、保護者に出前講座として説明しましたが、子どもの成長過程を知っていただいた上で、この先、保護者と離れる時間もとる予定です。今後、保護者の意見も聞きながら進めていきます。

質問：せつよう幼稚園の面積は3,480㎡で、消防車が5台入る。ささはら幼稚園は2,775㎡と1,600㎡少ない。有事に消防車が入り対応できるか。200人の子どもを一度に移動させることはできないと思う。

回答：施設建設においては法を順守するので、消防車の寄り付きなど問題はありません。また、職員も基準に沿って配置します。現在も保育所では毎月避難訓練を実施しています。

質問：幼稚園・保育所・認定こども園の管轄が国において異なるにも関わらず、伊丹市の掲げるビジョンにより、どの施設においても同じ方向を向いて動いていけるのか。

回答：国が定めた幼稚園教育要領・保育所保育指針・こども園教育保育要領は今年4月から3歳以上は同じ内容に統一され、これに基づき、各園それぞれに教育方針でもって幼児教育を行っておられます。伊丹市幼児教育ビジョンは、伊丹市の子どもを育てる共通の指針をつくらうということで、公私立の幼稚園・保育所からも委員になっていただき議論して策定しました。今後、研修についても公私立就学前施設全体で行っていきます。

質問：せつよう幼稚園の芝生を大事に残して活用できないか。現在、子育てをしている親の意見を取り入れてよい案を出してほしい。

回答：丁寧に手入れをしていただきありがたいと思っています。ご意見は伺っていきます。

質問：笹原小学校には公共施設や大きな公園、交番、買い物施設、神社などあるのに、摂陽地域には何もなし。幼稚園はブロックでなくコミュニティ単位で考えてほしい。せつよう幼稚園ではふれあいサロンも利用しており、高齢者の行き場がなくなる。地域資源の活用はまちづくり協議会でも議論していきたい。もっと情報提供してほしい。まちづくり協議会は、ビジョンを策定に向け、来年から具体的に検討することになっている。すでにある地域資源を活用しながら地域を活性化していきたい。

回答：検討委員会を立ち上げられたことはお伺いしています。市としては公共施設の床面積は増やさない方向です。まちづくり推進課が中心となるとと思いますが、ビジョンの策定に向けた支援については、できることをしていきたいと思っています。

質問：閉園に伴い生まれる財源で国に先立ち無償化を実施するということが、国が無償化を半年早めると報道された。そうなれば市は少ない支出で済むので、せつよう幼稚園を閉園しなくてよいのではないか。跡地利用の考え方を示してほしい。売却先は決定しているのか。閉園後、民間の幼児教育施設に限定しての売却は可能か。売却して住宅が建つとしても幼稚園のないところに誰も家は購入しない。子どもは減っていく。

回答：今回の公立幼稚園の再編は、無償化に必要な財源分を再編で補うものではなく、集団保育に適した環境を確保するため、1園当たりの園児数を増やすことを目的としており、国の無償化の動向とは関係しません。

質問：保護者の意見には、地域で子どもを育てたいというのがあり、園区を広げると地域で子どもを見守れなくなるのではないか。幼児教育ビジョンには「地域で子育て」とあるが、公立幼稚園が閉園すると地域とのつながりがなくなるのではないか。

回答：現在、公立幼稚園に通う子どもの割合は約20%であり、残りの約80%は、公立幼稚園以外の私立幼稚園や公私立保育所などに通っておられます。すべての子どもが地域とのつながりをもてるような仕組みづくりに取り組んでいくことが大切であると考えます。

質問：市に対して要求をたくさん出しているが、要求を実現するには経費がかかる。私立幼稚園は保護者がお金を払い通わせているのに、公立幼稚園は安くしろと言うのは理解できない。それなりの義務が発生することを覚悟しなければならない。

回答：再編することによる運営費の縮減や用地の売却など、財源も入れた10年計画としています。今後も、みなさんのご意見を伺っていきます。

質問：ひかり保育園の建替等は考えているか。大規模改修にはせつよう幼稚園が活用できる。そのときに厨房をつくとひかり保育園児が戻った後、こども食堂やサロンに活用できる。

回答：保育園は夏休みなどの長期休業がなく、子どもが居ながらの改修はむずかしいため、その間、せつよう幼稚園を活用することは考えています。

質問：今回、すべての説明会の議事録を残し、ホームページや広報紙、次の説明会に出してほしい。

回答：会議の概要についてとりまとめ、ホームページで公表するとともに、説明会でもお示しします。